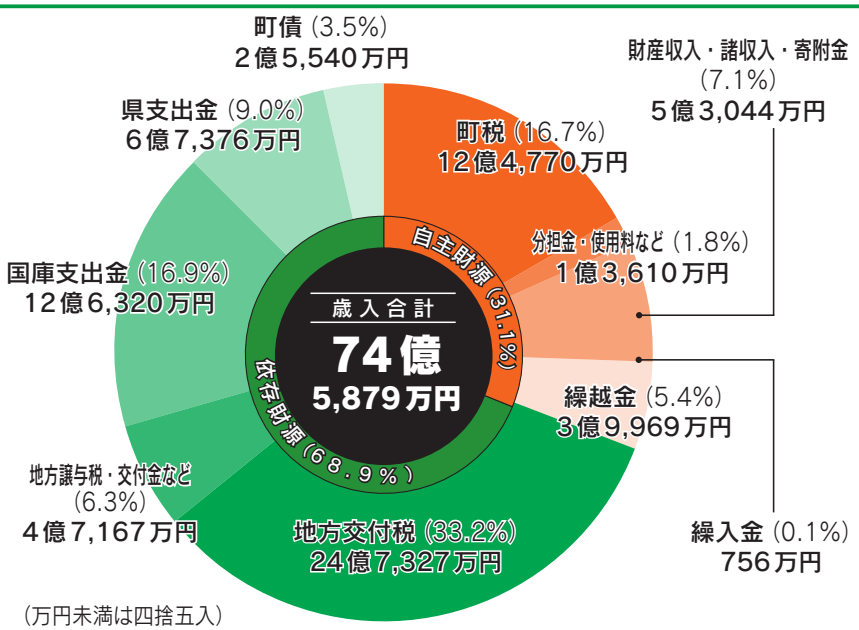
一般会計 歳入



（万円未満は四捨五入）

令和7年度の一般会計の歳入は74億5,879万円でした。その内訳は、町税などの自主財源が31.1％、国や県などに頼った依存財源が68.9％となっています。昨年度と比較すると、自主財源が0.1ポイント減、依存財源が0.1ポイント増となっており、全体に占める依存財源の割合がやや増加しています。この依存財源の増は、地方交付税や県支出金などが増加したことが主な要因です。

令和7年度の町の財政状況をチェック！

決算

【問合先】企画財政課 財政係
☎65・1085

【令和7年度決算概要】

令和7年度一般会計と特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。今月号では、桂川町の令和7年度決算概要を公表します。

一般会計は、防災行政無線更新事業や、ため池地震耐性評価事業、王塚装飾古墳館火災復旧事業などの影響により、歳入・歳出ともに前年度より増額となり、歳入は前年度に比べて1億9229万円増の74億5879万円、歳出は3億2939万円増の71億9621万円となりました。

自治体財政の健全化度合を示す「健全化判断比率」と「資金不足比率」は、早期健全化基準および経営健全化基準を大きく下回っており、財政の健全性を保っています。

より詳しい情報は、桂川町ホームページをご覧いただくか、お問い合わせください。

令和7年度 健全化判断比率 資金不足比率

健全化判断比率 項目	桂川町	早期健全化基準 経営健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	算定されず	15.00%	20.00%
連結実質 赤字比率	算定されず	20.00%	30.00%
実質公債費比率	4.0%	25.00%	35.0%
将来負担比率	算定されず	350.0%	−
資金不足比率	算定されず	20.00%	−

※赤字額や資金不足額が生じていない項目は「算定されず」と表記



◇実質赤字比率…一般会計等の実質赤字の比率
◇連結実質赤字比率…一般会計のほか特別会計などすべての会計の実質赤字の比率
◇実質公債費比率…公債費等の比重を示す比率
◇将来負担比率…地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率
◇資金不足比率…公営企業の資金不足の比率